



学校法人 志賀学園
平第一幼稚園
令和4年2月28日

寒さの中にも少しずつ暖かさを感じられる日が増えてきました。園庭の陽だまりに集う子どもたちの姿に春の訪れが近いように思われます。春になると地中で冬ごもりをしていた虫が、春の到来を感じ草木が芽吹くと同時に地上へ這い出してきます。この時期を啓蟄と言います。これからの時期は三寒四温の言葉の如く、一雨降るごとに気温が上がっていき、春に近づき日差しも徐々に暖かくなっていきます。戸外で遊ぶ子どもたちは、新しい遊具のジャングルジムや鉄棒や縄跳び、平均台をしたり園庭を走り回って体を存分に動かすことを楽しんでいます。

3月3日は、「ひな祭り」です。ひな人形と桃の花を飾り女の子の成長と幸せを願いお祝いをする行事で、桃の花の咲く頃に行われるので「桃の節句」ともいわれています。「桃は邪気（病気などをおこすと考えられる悪い気）を払う力がある」と考えられています。園では、3月3日にひなまつり会を行い、ひなあられを持ち帰りますので、ご家庭でお召しあがりください。

また、3月21日は「春分の日」です。子ども達には、「春分の日とは、昼と夜の長さが同じ、(実際には昼の方が少し長いというのが現代の認識)日で、この日にはご先祖様のお墓参りをしましょう」と話したいと思います。お近くに先祖様のお墓のあるご家庭は、お掃除をして、お供え物をするということを教えてあげると、体験として覚え、先祖を大切にすることを育んでくれると思います。このような体験を通し、日本の春の行事を子どもに伝えていきたいと思います。

2月18日(金)、19日(土)の2日間に分けてのドリームコンサートは新型コロナウイルス感染防止【まん延防止等重点措置】の延長により、事前に録画した発表内容を26日(土)にクラス毎の発信となりました。様々なご意見もあるかと思いますがご家族の皆様のご協力誠にありがとうございました

ステージに泣かずに立っていることだけでも感動のもも組の子どもたち。ばら組の子どもたちは、メロディオン、鈴、タンバリン、カスタネット、大太鼓、小太鼓等、いろいろな楽器を合わせて上手に演奏できました。すみれ組の子どもたちは、長い歌詞を覚えて歌ったり、メロディオンも一人ひとりの指がきちんと動き、上手に演奏することができました。さくら組の子どもたちは、合奏「君が代行進曲」では、一人ひとりが自分のパートをしっかりと覚え、とても感動する演奏だったと思います。

今年度もコロナ禍でいろいろな制限があった中、保護者の皆様には温かいご理解とご協力いただき、保育を進めることが出来ました。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

吉竹 芳江